

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	物事を細分化し、因果関係に基づいて整理し理解するための知識・技術を身につけている。	身の回りの事象について化学的な視点で分析できる	物質や元素といった化学的な観点から生活に関わる物質について考察できる。	化学反応やその量的関係を用いて、問題に対する答えを論理的・定量的に表現できる。	困難かつ複雑な問題を解決しようとする。		学習内容を理解し、活用可能な知識・技能とするために必要な学習活動を継続している。
評価の観点 の趣旨	実験・観察の目的や手順を理解し、適切に組み立てられる。 元素・化学式・化学反応式を用いて化学反応を理解できる。		レポートや論述をとおし、客観的かつ定量的に化学反応をとらえ、記述することができる。		自身の資質・能力を向上させるために必要な努力をすることができる。		
評価の方法	単元テスト		レポート	レポート 実験計画	評価対象外		確認テスト

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
物質の構成（１）	純物質と混合物 元素と単体 原子の構造	13	【理解力】 「物質」・「元素」について理解し、身の回りの物質を元素に基づいて分析的にみることができる。	【知識・技能】 元素の概念を理解し、元素記号を用いて物質を表現できる。
物質と化学結合	イオンの形成 イオン結合の形成 共有結合と分子 化学結合と物性	19	【分析力】 化学式を見て、物質の成り立ちを分析することができる。 【表現力】 イオン式や電子式、構造式、分子式といった表現方法を用いて、物質の成り立ちを表現するこ	【思考・判断・表現】 各物質のできたたについて判断し、その性質を適切に表現できる。 イオンや化学結合を、イオン式や電子式、構造式を用いて適切に表現できる。
物質の変化（１）	化学反応式	16	【生活力】 普段の生活にかかわる化学反応について、化学反応式を用いて説明できる。 【向上力】 化学反応の量的関係をととして、普段の生活でも定量的に物事を見ようとする。	【知識・技能】 化学式・化学反応式をただしく記述できる。
物質の変化（２）	物質量の化学反応の量的関係	19	【表現力】 有効数字と単位の変換に基づいて、化学反応の量的関係を定量的に考察できる。	【知識・技能】 化学反応の量的関係をただしくあらわす事ができる。 【思考・判断・表現】 指数や有効数字に留意して、量的な関係を表すことができる。
物質の変化（３）	酸と塩基の元素イオン濃度とpHの中和反応の反応と塩	19	【分析力】 イオンの量的な関係に注目して、身近な酸・塩基の性質や反応を考察できる。 【生活力】 得た知識や技術を実生活に活用できる。	【思考・判断・表現】 既習知識を元に、酸と塩基の性質や量的な関係を表すことができる。 【学びに向かう力】 中和反応の身近な利用について考察し、根拠を持って実生活に生かそうとすることができる。
物質の変化（４）	酸化還元反応と電池・電気分解	19	【分析力】 イオンの量的な関係に注目して、身近な酸・塩基の性質や反応を考察できる。 【生活力】 得た知識や技術を実生活に活用できる。	【思考・判断・表現】 既習知識を元に、酸化還元反応の性質や量的な関係を表すことができる。 【学びに向かう力】 酸化還元反応の身近な利用について考察し、根拠を持って実生活に生かそうとすることができる。

備考

※ 単元ごとに単元テストを行い、定期考査は実施しない。ただし、単元テストが定期考査の実施時期と重なる場合はありうる。
※ 単元テストは、確認テスト（オンライン教材）から出題する。
※ オンライン教材は何度取り組んでも良い。オンライン教材への取り組み状況は、別途示す相関表に則って、「学習に向かう態度」の評価材料とする。